

## 特別養護老人ホームサンライフ魚崎特養・短期入所 医務

### 平成27年度事業報告書

前年度より看護師の入退職が続いていたが、10月に正職員の入職があり、今年度新しく嘱託医となった医師との連携も徐々に円滑となり、相談員や他部署の協力も得ながら、利用者様の状態を把握し看護にあたり、又、看護師間でもお互いに意識しながら自主性と創造性を磨く魅力ある職場を目指してきた

1. 看護師の入れ替わりが続いたが、利用者様の体調を把握管理し、精神的支えとなる看護を目指す。

(1) 利用者様の状態を、正しく把握し、異常の早期発見し対応できるよう日常的に使用している進行表や排泄チェック表の見直しを行ってきた。

排泄チェック表に関してはひとり一人に適した排便コントロール計画を立てる為の評価がしやすいように今後も見直しをしていく。

(2) 利用者様の状態や予測される事態を把握し、嘱託医へ連絡・指示を受け、ご家族様へ細目に報告、相談、意向の確認を行った。

延べ42名の発熱・その他の疾患罹患者があり、内6名が緊急対応、入院となった。

緊急対応者の内、3名が吐下血であったことから消化管に既往のある方の再確認を行い個々に合った排便コントロールをしっかりと整えていく事や生活習慣を見直すことが必要となっている。

看護師付き添い受診回数33回の内16回は皮膚科受診で外科的処置を必要とする褥瘡や動静脈閉塞症の悪化が主で送迎や受診中のスタッフの不在などの負担が大きく、又、近隣の診療所ではないことや、患者多数の為待ち時間が長い等利用者様への負担も大きい。このことから皮膚科の往診医の確保が今後の課題となる。

インフルエンザ罹患に関しては職員5名、特養・ショート利用者様各1名発症したが、それぞれ関連性は無く感染拡大する事なく終息を迎えた。

特養の利用者様の発症は同室に多人数の面会があった後ということから原因のひとつと考えられることから、流行期には面会は居住スペースには通さず面談室でして頂くようにした。

(3) 医薬品管理・発注、医務物品の整理、各委員会参加等、一部の看護師の負担とならないよう業務、役割分担を行った。

(4) 医療的ケア対象者は新規入所様含め2名増え、5名となった。内1

名は胃瘻経管栄養の方で事故抜去があった為チューブ型からボタン型に変更され、全面的に看護師管理で注入を行っている。一時的に誤嚥性肺炎を起こされ頻回の吸引を必要とする時期があったが水分・野菜ジュースの注入をトロミ剤で半固形にし、ポーラス注入する事で改善された。状態安定して注入できるようになれば手技の再確認・伝達後介護職へ業務の移行をしていく。

感染対応に関してはノロ・インフルエンザを中心としたマニュアルを見直し、次年度より施行していく。

2. 嘱託医が、今期から交代された。

- (1) 発熱時等の臨時処方薬によく指示される薬を薬局と相談し、ストック薬の種類を増やした。
- (2) 前任の医師の時から看取りの意向のある方も含め述べ18件の家族との面談を行い看取りの同意をいただいた。退所8名中7名がサンライフで最期を迎えられ、そのうちの2名は急逝され看取りの同意をいただいていたが嘱託医の診断で救急対応する事無く静かにお送りする形となった。

3. ショート利用者様の対応を円滑にし、簡素化する。

- (1) ロングステイの利用者様の定期処方のご家族に説明し主治医の理解をいただき全て一包化・分包され配薬管理業務の負担が軽減された。
- (2) 配薬ミスを防ぐ為翌日の朝までの薬を必ず看護師2人で、日曜日は介護職の協力を得て日勤の看護師がいる間にダブルチェックする事としたことで夜間の介護職からの問い合わせの電話が無くなった。特養の配薬チェックについても改善を行っていきたい。
- (3) ロングステイの利用者様で看取りの意向のあった2名の方々はそれぞれ何度もエンドステージを迎えながらも主治医の指示のもと、介護職と共に、ご本人・家族に寄り添う形で看護介護にあたり、静かにみ送る事ができた。着実に重症化が進んでいるショートの利用者様に対してどのような対応をどのタイミングでどうすすめていくのか、ご家族や、介護職スタッフ、相談員、ケアマネージャー、施設長と十分な検討が必要となると考える。

以上

6. 平成27年度 特養・ショートステイ看護及び研修状況

(1) 疾病発生状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
発熱・風邪 罹患者数	6	2	6	2	4	0	2	5	0	1	8	0	36	67
その他の疾患 罹患者数	1	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	6	150
Ns付き添い 受診回数	5	4	2	4	3	1	1	0	2	1	8	2	33	110

(2) 入院 ・ 退院 ・ 入退所者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
入院者数	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	2	0	6	150
退院者数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2	1	6	200
退所・死亡者数	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	3	1	8	114
入所者数	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	3	1	8	160

(3) 特変緊急対応の回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
特養	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2	1	6	—
ショート ステイ	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1	6	120

(4) 医療診療件数（受診・往診）・診療

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
特養ショート 件数	27	28	33	38	35	44	42	32	39	32	30	37	417	118
特養ショート 人数	124	133	133	112	118	121	119	131	126	103	96	119	1435	121

(5) 研修受講状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
外部件数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	3	—
外部人数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	4	—
内部件数	7	7	6	7	7	7	6	6	6	6	6	7	78	113
内部人数	21	22	16	15	14	16	16	19	18	17	14	21	209	102

以上